



港南小学校

学校だより

9月号

二十四節気・七十二候

<9月の二十四節気>

- ・9月8日 白露
気界冷露白し
- ・9月23日 秋分
秋の最中昼夜平分

<9月の七十二候>

- ・草露白
くさのつゆしろし
→草に降りた露が白く光る
- ・鶉鳴鳴
せきれいなく
→鶉が鳴き始める
- ・玄鳥去
つばめさる
→燕が南へ帰っていく
- ・雷乃収声
かみなりすなわちこえをおさむ
→雷が鳴り響かなくなる
- ・蟄虫坏戸
むしかくれてとをふさぐ
→虫が地中に掘った穴をふさぐ
- ・水始涸
みずはじめてかる
→田畑に水を干し始める

「実行力」と「継続力」を育てる

四十二日間の長い夏季休業が終了し、今日から二期が始まりました。夏季休業中はコロナの再拡大もありましたが、予定通り夏季水泳教室、補習、夏休み南クラブ、五年生夏季学園を実施しました。特に三年保護者、地域、企業の皆様のご支援もあり、子供たちにとって普段味わえない学びとなったと考えています。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。来年度は、さらにバージョンアップして開催できればと思っています。

児童数の増加に伴い、九月から仮設校舎の建設が始まります。PTA実行員会の際に教育委員会からも説明を頂きましたが、図工室、家庭科室等四教室の増築工事を行います。それに伴い、校庭の一部が資材置き場になります。自転車置き場が使用不可になったりする時期がありますので、ご協力いただければと思います。また、二学期は、大きな行事としてオータムフェスタを予定しています。感染症に気を付けた上で、音楽活動の発表を行う予定です。

さて、何事を始めるにもまずは一歩を踏み出す「実行力」とそれを続ける「継続力」が必要です。これからの世の中を生き抜いていくには、社会がどのような変化しても適応して様々なことに挑戦していくことが大切です。何か新しいことを始めた時、すぐに結果がでません。ですから、ある程度の期間を続けていくことが「実行力」と「継続力」がセットになっていくことも必要です。しかし、分かっていても実際は難しく、いざという時に学年が上がるにつれ難しくなっています。一つを理解させていくことが大切です。このように「スモールステップ」を踏むことで子供たちは「できる」という感覚が身に付き、主体的に学習しようという気持ちになります。それを学年で放っておくと益々目標設定が大きくなってしまい、挫折感が増幅されていきます。ですから、学校の学年に積み残しがないよう、計画的に子供たちの支援を行っているのです。

校長 船木 亮作

子供たちも勿論将来のために勉強した方が良いことは分かっています。しかし、現代社会はそれ以外の刺激(ネット、SNS)が溢れ、ゲームや楽しいことなどが沢山あります。勉強すべきなのにゲームや行動しようことを行動科学では「過剰行動」(ライバル行動)と言うそうです。反対にやるべき行動(例えば勉強)を「不足行動」(ターゲット行動)と言います。この不足行動の実行回数を増やすには3つの方法があります。

- ①行動の誘発条件をつくる(行動をしたくなるような条件をつくる 集中できる環境)
- ②行動の動機付け条件をつくる(ご褒美 10分出来たらおやつを食べるなど)
- ③行動のハードルを低くする(まさしくスモールステップ)

ここで大切なのが「実際に実行可能なことを目標にすること」です。何事も最初の一歩が大切です。このことから量や質を求めすぎないことも大切です。このようになことを続けていくと「できる!」を体験し、自分自身に自信がもてるようになります。つまり、達成感が生まれ、自然と自己肯定感も生まれてくる善循環が生まれてきます。その際、勉強等には「たのしさ」が必要で、「楽しさ」ではなく、「愉しさ」があり、時間も忘れて夢中になる「フロー状態」になっていく感覚です。

達成感と自己肯定感が得られて善循環すれば、物事に挑戦できる「実行力」が発揮され、同時に「継続力」も生まれてきます。この力は生涯にわたって自分を支えます。AIやテクノロジーの時代にも大切なものだと考えています。AIやテクノロジーにより今ある仕事やどんな消えていき、新しい仕事が生み出されていくか、子供たちに、このような力をつけていきたいと思います。

※音楽専科教員の井上加奈子主任教諭におきましては、八月三十一日をもって退職いたしました。代替教員につきましては、決定次第、当該学年にはお知らせいたします。

心身ともに健全な生活

「約束を守れなかった時の約束を、子供と決めておくことが大切です」これは、大森警察署の少年センターの方から伺った話です。

夏季休業が終わり、改めて生活習慣の確立が必要です。動画サイトの視聴やオンラインゲーム、SNS等の長時間利用が増えることで、健全な生活や友人関係に悪い影響を及ぼすおそれがあります。SNS等の家庭ルールについて親子で話し合ってお成りいただきますようお願いいたします。

また、夏季休業明けは、児童の不安や悩みが増大することがあります。不安や悩みを抱えたときは、保護者をはじめ信頼できる人や教職員、二十四時間受付の「東京都いじめ相談ホットライン」「港区立教育センター電話相談」等の外部機関に相談することが大切です。

いじめや不登校については、年に二回有識者を招いて対策会議を行い、早期対応に努めています。

二期も児童の健全育成のために、保護者や地域の皆様と連携してまいります。今学期もどうぞよろしくお願いたします。

(生活指導主幹 小清水 孝)



東京都港区港南4-3-28
TEL3474-1501
FAX3474-1500



港南小学校 Twitter



港南小学校HP

10月の主な行事予定

- 1日(土) 都民の日(休業日)
- 3日(月) 委員会活動
- 4日(火) 連合運動会(6年)
- 5日(水) 連合運動会報告会(基礎)
- 6日(木) わかば学級にエールを送る会(5年)
- 7日(金) 合同運動会(わかば)
- 12日(水) 下校時刻変更
- 15日(土) クリーン作戦
- 17日(月) クラブ
- 20日(木) Autumn Festa(児童鑑賞日)
- 21日(金) Autumn Festa(児童鑑賞日)
- 22日(土) Autumn Festa(保護者鑑賞日)
- 26日(水) 避難訓練(不審者対応)
- 27日(木) げんきアップタイム
- 28日(金) 校外学習(1年)

副校長より

長い夏休みも終わり、子供たちも元気に登校して、登校時の子供たちの笑顔から、夏休みを有意義に過ごしてきことが見受けられ、とても嬉しく思いました。

さて、港南小学校では、3年ぶりに「港南クラブ」が再開され、地域の方や地元企業、保護者の方を講師としてお招きし、講座を開講しました。今年、六十九講座が開講されました。子供たちのキャリア教育の一環として、社会の中で自分の役割

「夏休み港南クラブ」

を果たしながら「自分らしい生き方」を実現していくため、港南小学校の特色のある教育の一つとなっております。残念ながら、新型コロナウイルス感染症のために中止となってしまう講座もありましたが、来年は、さらに充実した内容で講座実施できるようにしていきたいと思っております。最後に港南クラブの開講に際し、ご協力いただきました方々に御礼申し上げます。ありがとうございました。

(副校長 久道 泰司 平 裕子)

9月の行事予定

1日	木	始業式 土曜時程4時間授業 幼小合同避難訓練(引き渡し訓練)
2日	金	給食始、わかば学級説明会
3日	土	
4日	日	
5日	月	発育測定始、フレンドリータイム、委員会
6日	火	セーフティタイム
7日	水	げんきアップタイム、下校時刻変更
8日	木	眼科(1・2年生)
9日	金	夏休み自由作品展示終
10日	土	遊び場開放(午後)
11日	日	
12日	月	わくわく個人面談始、クラブ
13日	火	ブラインドサッカー体験(4年)
14日	水	眼科検診(わかば・3・4・5・6年) わかば学級説明会
15日	木	ブラインドサッカー体験(4年)
16日	金	発育測定終
17日	土	
18日	日	
19日	月	敬老の日
20日	火	
21日	水	下校時刻変更
22日	木	
23日	金	秋分の日
24日	土	授業日 クリーン作戦(6年)、給食あり 保護者会 1~3年わかば 14時~ 4~6年 15時~
25日	日	
26日	月	振替休業日
27日	火	音楽鑑賞教室(5年)
28日	水	
29日	木	エールを送る会、わくわく面談終
30日	金	水泳記録会(6年)

※新型コロナウイルスの状況により予定が変更になる場合があります。

表彰



ジャッビットカップ2022 港九大会
優勝 港南メッツ

	わかば	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数(人)	35	228	210	206	220	221	233	1353

(8月31日現在)

わかば移動教室

わかば学級の四・五・六年生の児童十九名は、七月七日から九日までの移動教室で、二泊三日を箱根ニコニコ高原学園で過ごしてきました。

一日目の生命の星・地球博物館では、館内の説明を丁寧にしてくださったスタッフの方に「子供たちが元気に反応してくれて話すのが楽しかったですよ」と、嬉しい言葉をいただきました。教えていただいた鉱物や恐竜、動植物などの展示物を見付けると喜ぶ姿も微笑ましかったです。また、夜には初めてのキャンプファイヤーもできて、火を囲んで歌ったり踊ったりと、楽しみました。

二日目は、芦ノ湖のハイキングコースを歩き、海賊船に乗って箱根の自然を満喫しました。船上の風は涼やかで気持ちよいものでした。

三日目は、楽しみにしていたお土産の購入です。家族のために、自分のために、あれこれ迷いながら一生懸命考えて選んでいました。そして、森のふれあい館では、木の実や小枝を使って木のマグネットを作りました。それぞれ個性的な作品が完成し、これもいいお土産になりました。

今回の宿泊学習を機会に、自分のことは自分で行う、時間を考えて行動する、友達と交流する、親元を離れて泊まるなど、たくさんさんの思い出と成長のタネが増えました。

新型コロナウイルスの影響で今まで通りにできないことが重なっていたので、久しぶりの宿泊行事にドキドキワクワクしながらも有意義な学習ができました。この経験を今後の生活に活かせるよう励ましていきたいと思っています。

(わかば学級担任 藤井由起子)

六年移動教室

初めての宿泊行事となった移動教室では、「リスペクト」自立・協力・感謝」をめあてに、二泊三日を過ごしました。

一日目は、小田原城に行き、行動班ごとに天守閣やNINJA 館・SAMURAI 館を見学しました。事前学習で小田原城について調べていた子も多く、実際に見学することで、より理解を深められた様子でした。箱根ニコニコ高原学園に到着すると、生活班の友達と声を掛け合いながら布団を敷くなど、めあての「協力」を意識して過ごす姿がたくさん見られました。

二日目は、箱根旧街道石畳や杉並木を散策し、昔の人々が山を越えていた大変さを実感しました。雨天のため、散策することができなかった学級もありますが、箱根関所を見学し、箱根の歴史を学ぶことができました。また、夜はキャンプファイヤーやキャンドルファイヤーを行いました。レク係を中心に計画したゲームやダンスを楽しみ、学級・学年の絆をより深めることができた一日になりました。

三日間を通して、自分たちでしおりを見て五分前に行動したり、言葉や行動で感謝の気持ちを表したりするなど、めあてを達成することができました。二学期も、日々の生活や行事を通して、港南小学校の最高学年として立派な姿を下学年に見せられるよう、支援を続けていきたいと思っています。

(六年三組担任 山崎愛未)

港南クラブ

コロナ禍により、三年ぶりの実施となった港南クラブ。今年度は、地域の企業の方々や保護者の方々のご協力のもと、七十近くの講座が開設されました。スポーツ、理科、社会、工作、プログラミング、宇宙、作文など講座の内容は多岐にわたります。子供たちは専門性の高い体験活動を通して、楽しみながら新たな学びの機会とすることができ、充実した時間を過ごすことができました。講座開設にあたって、ご協力いただいた方々に心より感謝申し上げます。

(特別活動部 佐藤泰輔)

五年夏季学園

コロナ禍で迎えた夏季学園。もしかしたら中止になるのではないかと、教員も子供たちも行くまでは不安な日々を過ごしたと思います。無事実施できたことを嬉しく思います。

この夏季学園では、「思いやり・感謝・五分前行動」の三つをめあてとして過ごしました。思いやりに移すことの難しさを感じた二日間でしたが、六年生の移動教室では頑張りたいと、来年のめあてを立てることができました。

様々な面でのご協力、ありがとうございました。

(五年三組担任 酒井百代)

卓球クラブ

卓球クラブでは、四年生四人、五年生五人、六年生十四人の計二十三人で活動しています。準備や片付けも、自分たちで素早く済ませることができるようになってきました。

夏休み前のクラブ活動では、シングルスの一ナメント戦を行いました。対戦相手を確認し、五点マッチで試合をしました。試合待ちの人はすすんで審判を行いました。試合の勝敗に一喜一憂している姿や、爽やかに「ありがとうございました」と挨拶する姿が見られました。決勝戦は、全員で応援し、白熱したラリーに自然と拍手を送る様子が素敵でした。今後も、卓球の技能のみならず、ルールやマナーについて、引き続き指導して参ります。

(卓球クラブ担当 松川 ゆり)

手芸クラブでは、裁縫や羊毛フェルト、刺繍糸を用いてミサンガ作りなど、自分の興味ある手芸に挑戦しています。

自分が作りたい作品を完成させるためには、どのような材料や用具が必要か、どのような手順で制作するか等、自分で調べたり、友達や担当教員と相談したりしながら、それぞれが準備をして活動しています。

完成した作品は、家庭科室前に飾っています。今年度は一人二作品を飾ることを目標に取り組んでいます。二学期は、友達同士で完成した作品を鑑賞したり、制作方法を教え合う時間を設けたりしながら、オンラインワンの素敵な作品が完成するように支援していきます。

(手芸クラブ担当 武田 美帆)

写真クラブ

写真クラブでは、四年生十五人、五年生八人、六年生十人の計三十三人で活動しています。毎月のテーマを子供たちが決めて活動しています。五月は「学校の好きな場所」、六月は「ビオトープ」、七月は「校庭の木」をテーマに活動しました。どの写真もテーマに合わせながら、個性あふれる写真を撮ることができました。異学年で組んだグループごとに写真を撮りに行きます。六年生が中心となり、子供たち同士が、カメラの準備をしたり校内を回る順番を決めたりと協力して取り組んでいます。学年を跨いでも楽しく活動する姿が見られました。

(写真クラブ担当 菊地 晴香)



読書クラブは六年生八人、五年生十人、四年生六人の計二十四人で活動しています。自分の読みたい本を学校図書館で探して、黙々と自分のペースで読書を進めてきました。集中して読書に取り組む姿が素晴らしいかったです。

自分自身が読書を進めることも素晴らしいのですが、二学期からは、ただ読むだけでなく、自分が読んで感じたことや思ったことを伝えていく活動を取り入れていきたいと思っています。具体的にどんな活動内容にするかは、六年生を中心として、子供たち自身で考えていけるようにします。

読書クラブ

今後、子供が読書を楽しめる活動や本や言葉に親しむ遊びをし、読書が好きな子供たちを育てて参ります。

(読書クラブ担当 田中 智也)

算数少人数より

本校では、二年生から六年生の五学年にわたって算数で少人数の学習を行っています。

各学年に算数少人数担当二名が加わり、単元毎に算数のクラスを作ります。例えば四年生では、六学年をハクラスに分けることとなります。算数でのクラス分けは、単元の内容により様々です。習熟度別やめあて、個人の特性に合わせるものがあります。算数は積み重ね学習なので、前学年で学習した応用もありますので、タブレットを使用し復習を行うことから単元に入ることもあります。今年度も一人一人の課題に合った算数の学習を進めていきます。

(算数少人数担当 寺嶋 古都絵 木内 ゆり)

特別支援教育部より

発達について気になる子供を対象に、生活面や学習面での困難を克服・改善するための指導を行うために、本校において通級指導を行う特別支援教室(わくわく教室)を開室しております。また、通常の学級の教室内での一斉指導において、苦手な部分を補うために、個別的な支援を行うために学習支援員を配置しているところです。

現在、これらの支援を受けておらず、来年度特別支援教室の通室あるいは、学習支援員の配置を希望される保護者の方は十月三日(月)までに、担任、特別支援コーディネーター、または副校長に御相談ください。

(特別支援教育コーディネーター 倉山 千春)